

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026年3月18日

訪日外客数（2026年2月推計値）

◇2月：3,466,700人、2月として過去最高を更新

- 2月の訪日外客数は3,466,700人で、前年同月比では6.4%増となり、2月として過去最高を更新した。
- 2月は欧州を中心に訪日旅行のローシーズンとなる中、2025年は1月下旬であった旧正月（春節）が今年は2月中旬となり、東アジアを中心とした旧正月に合わせた旅行需要の高まりが見られたこと等により、東アジアでは、韓国、台湾、東南アジアでは、シンガポール、フィリピン、欧米豪では米国、カナダを中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 韓国、台湾、米国など18市場で2月として過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2026年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 2月過去最高の18市場は、韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、インド、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2026年 訪日外客数・出国日本人数

2026 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2025	2026	伸率 Change %	2025	2026	伸率 Change %
1 Jan.	3,781,629 (3,455,149)	3,597,500 *	-4.9 *	912,298	1,072,602	17.6
2 Feb.	3,258,491 (2,965,065)	3,466,700 *	6.4 *	1,181,062	1,093,300 *	-7.4 *
3 Mar.	3,497,755 (3,149,434)			1,423,449		
4 Apr.	3,909,128 (3,587,187)			961,386		
5 May	3,693,587 (3,368,573)			1,076,756		
6 Jun.	3,377,985 (3,110,559)			1,054,045		
7 Jul.	3,437,118 (3,161,501)			1,205,435		
8 Aug.	3,428,406 (3,072,139)			1,648,279		
9 Sep.	3,267,228 (2,893,816)			1,394,525		
10 Oct.	3,896,524 (3,579,441)			1,243,575		
11 Nov.	3,518,195 (3,224,810)			1,330,014		
12 Dec.	3,617,791 (3,395,228)			1,300,791		
1~2 Jan.-Feb.	7,040,120 (6,420,214)	7,064,200 *	0.3 *	2,093,360	2,165,900 *	3.5 *
1~12 Jan.-Dec.	42,683,837 (38,962,902)			14,731,615		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan.
Crew members are excluded.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

◆Note 5. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

2026年2月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2025年比）

Visitor Arrivals for Feb. 2026 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2025)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2025年 2月	2026年 2月	伸率(%)	2025年 1月～2月	2026年 1月～2月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,258,491	3,466,700	6.4	7,040,120	7,064,200	0.3
韓国	South Korea	847,358	1,086,400	28.2	1,814,458	2,262,400	24.7
中国	China	722,924	396,400	-45.2	1,703,444	781,700	-54.1
台湾	Taiwan	507,346	693,600	36.7	1,100,777	1,388,100	26.1
香港	Hong Kong	195,543	233,900	19.6	439,230	433,900	-1.2
タイ	Thailand	116,797	117,000	0.2	213,608	232,100	8.7
シンガポール	Singapore	42,270	51,300	21.4	87,977	99,800	13.4
マレーシア	Malaysia	64,859	59,700	-8.0	139,862	132,200	-5.5
インドネシア	Indonesia	47,026	51,200	8.9	110,256	125,200	13.6
フィリピン	Philippines	66,698	71,700	7.5	138,883	150,900	8.7
ベトナム	Vietnam	73,813	61,000	-17.4	124,228	113,800	-8.4
インド	India	12,955	15,900	22.7	29,144	34,400	18.0
豪州	Australia	88,767	87,000	-2.0	228,952	247,700	8.2
米国	U.S.A.	191,494	219,700	14.7	374,050	427,500	14.3
カナダ	Canada	44,497	51,300	15.3	86,798	99,300	14.4
メキシコ	Mexico	10,784	15,400	42.8	20,116	30,700	52.6
英国	United Kingdom	31,408	35,600	13.3	57,786	65,100	12.7
フランス	France	26,518	30,600	15.4	43,033	51,200	19.0
ドイツ	Germany	18,643	21,900	17.5	31,380	40,200	28.1
イタリア	Italy	11,057	12,200	10.3	19,849	24,200	21.9
スペイン	Spain	9,827	10,200	3.8	17,228	20,300	17.8
ロシア	Russia	5,668	7,700	35.9	10,599	17,500	65.1
北欧地域	Nordic Countries	12,013	13,600	13.2	21,197	25,400	19.8
中東地域	Middle East	10,809	10,000	-7.5	22,682	27,500	21.2
その他	Others	99,417	113,400	14.1	204,583	233,100	13.9

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2025年の数値は暫定値、2026年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

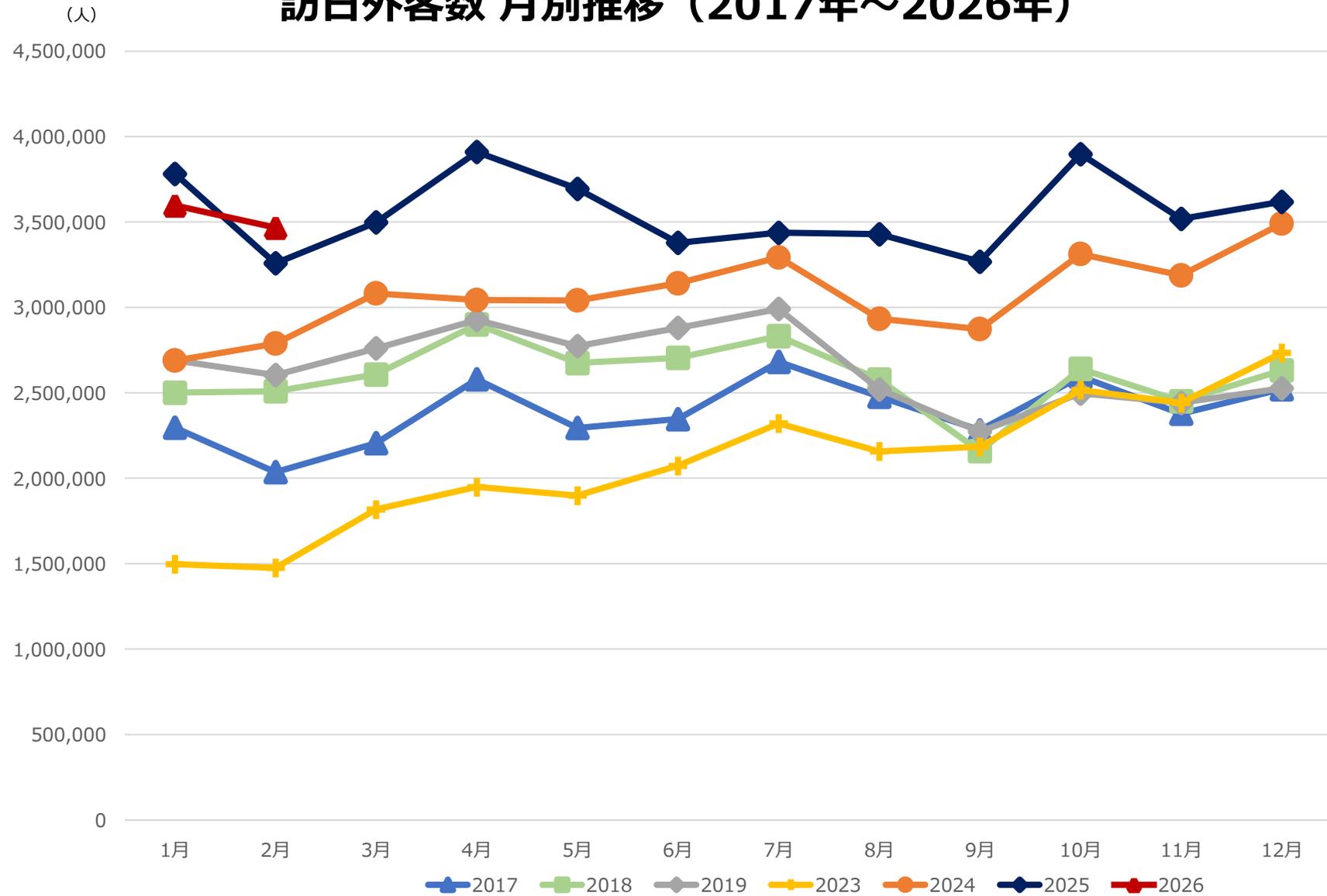
◆Note 2. Above figures for 2025 are provisional, while figures for 2026 are the preliminary ones estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2026年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2026年2月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2026年3月11日時点)として
いる。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航
空路線で2026年2月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

注) 多くの市場において円安傾向が継続している。

注) 欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となってい
る。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、1,086,400人(前年同月比28.2%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年
は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったこと、仁川～成田間、仁川～福岡
間の増便や、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録し
た。
- 中国は、396,400人(前年同月比45.2%減)であった。前年は1月下旬から始まった春節が今
年は2月中旬となったこと等はあったものの、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意
喚起があった。航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- 台湾は、693,600人(前年同月比36.7%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年は
1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったこと、台北桃園～那覇間の増便や、
スクールホリデー、3連休の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- 香港は、233,900人(前年同月比19.6%増)であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が
今年は2月中旬となったことや、前年同月と比較した航空座席数の増加の影響等もあり、訪
日外客数は2月として過去最高を記録した。

② 東南アジア

- タイは、117,000人(前年同月比0.2%増)であった。経済の不透明感による海外旅行需要の
低迷の影響等があるものの、2025年12月のバンコク～仙台間の復便や、バンコク～成田間、
バンコク～関西間の増便、祝日の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録し
た。
- シンガポールは、51,300人(前年同月比21.4%増)であった。訪中旅行の継続的な人気の影

響等があるものの、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

- マレーシアは、59,700人（前年同月比8.0%減）であった。クアラルンプール～新千歳間の増便に加え、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことの影響等があるものの、スクールホリデーの期ずれや、イスラム教の断食期間による旅行需要の減少、訪中旅行の継続的な人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- インドネシアは、51,200人（前年同月比8.9%増）であった。イスラム教の断食期間による旅行需要の減少の影響等があるものの、断食期間前の駆け込み旅行需要に加え、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、71,700人（前年同月比7.5%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、マニラ～新千歳間の増便、クルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、61,000人（前年同月比17.4%減）※であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことに加え、ハノイ～広島間、ホーチミン～中部間の増便の影響等があるものの、旧正月前の旅行控えの影響や経済の先行き不透明感による海外旅行需要の減少の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
 - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。
- インドは、15,900人（前年同月比22.7%増）であった。2月は海外旅行需要が落ち着く時期であるものの、デリー～羽田間、ムンバイ～成田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、87,000人（前年同月比2.0%減）であった。訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気があるものの、一部の州におけるスクールホリデーの期ずれの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- 米国は、219,700人（前年同月比14.7%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、ウィンタースポーツ目的等による訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気に加え、祝日の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- カナダは、51,300人（前年同月比15.3%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加の影響等もあ

り、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

- **メキシコ**は、15,400人（前年同月比 42.8%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、経路便の多様化や継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、35,600人（前年同月比 13.3%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、スクールホリデーやウィンタースポーツ目的等による訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、30,600人（前年同月比 15.4%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、2月中旬から始まったスクールホリデーや、継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日需要の高まりやクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、21,900人（前年同月比 17.5%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、12,200人（前年同月比 10.3%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、10,200人（前年同月比 3.8%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、7,700人（前年同月比 35.9%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、2月下旬の連休に加え、経路便の多様化やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、13,600人（前年同月比 13.2%増）であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、訪日旅行に関する現地での報道の増加に加え、スクールホリデーや前年同月と比

較した航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- **中東地域**は、10,000人（前年同月比7.5%減）であった。継続する訪日旅行人気や前年同月と比較した直行便数の増加の影響等があるものの、イスラム教の断食期間による旅行需要の減少の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。